



※ 私は小さい頃通っていた保育園の先生にあこがれて、「保育士になりたい」と思い、その一心でここまで来たと思います。保育士にとって必要なものは何か、なった際にどのようなことが必要かを、ときどき考えては、読み聞かせの練習をしたり子どもの前に立っているときの姿を想像したりしました。夢の途中で壁にぶつかることもありますが、実際に保育士になり子どもたちの笑顔や保護者の「ありがとう」という言葉に触れると、あきらめず努力してよかった、またがんばろうと思います。「何かに向かう」ということは続けてほしいです。

※ 農家に生まれた私は、「どうせ勉強しても農家へ嫁に行くんだ」と思い込んでいました。しかし、高校で私と同じく農家の娘である友人と出会い、考えが変わりました。自宅でとれた野菜を自慢し、両親を尊敬しているその友人は、教師になることを目指していました。それを知ったとき、私は「自分にあったふさわしい職を見つけ、それに向かって歩いていけばいいんだ」と思い知らされました。

※ 中学生の頃、自分のよいところよりも人のよいところばかり気にしていました。今思うと、それは自分を変えるチャンスだったのかもしれない。他の人のよさを認め、まねをすること。それは決して悪いことではありません。まねをすることは「よりよくなりたい」と努力をすることだからです。逆に、そのチャンスをいかせず、他の人を否定して前に進めないのはもったいないと思います。ちょっとしたきっかけはどこにでもたくさんあり、それらが大きな成果につながることは大いにあります。きっかけをつかむかどうか、決めるのは自分です。

お寄せいただいた保護者の方々のメッセージ

※ 席を譲ればよいかどうか迷っているときに、学生が席を譲った姿、大きなスーツケースを階段で運んでいた際に、自分よりも若い人がすっと手伝い立ち去っていった姿が心に残っている。

※ 不満ばかり口にしていた時期がありました。そんなとき、上司に「誰かがしないと物事は進まない」と言われました。黙々と業務に取り組むその方に、ある日「損じゃないですか」と聞いたことがあります。そのときその方は「損か得かはわからないが、知識は増える」とおっしゃいました。その後、私は少しずつ実践し、いろいろな物事を受け入れることに努めました。「不満を言う人より行動する人の方がえらい」ということを、身をもって感じました。他の人の言葉を聞くことで、新しい視野が持て、自分の視野が広がりました。

※ 私が職場の先輩から学んだことは、「ポジティブ（前向き）に考える」ということです。特に、大きな仕事を任されたときやピンチの場面では、「嫌だ」「困った」とばかり思っても何も解決しません。気持ちを切り替えて、「これは何かを学ぶチャンス」と考えるようにしています。すべてがうまくいくことが増えたように思います。「ピンチはチャンス」です。



※ 理想となる人が周りにいないと感じている人は、まずは身近な子のよいところを探してみてください。周りに流されずに冷静に相手を見つめられると、新しい発見があり、気持ちもなんだか明るくなります。人は不思議なもので、ほんの少しでも物事を違う角度から見ると、今までとはまったく違うものが見えるものです。考え方一つで自分のポジションもがらりと変えられるものです。

※ 知り合いの方で、今までの仕事を辞められ自分の好きな仕事を始められ、いきいきとがんばっていらっしやる姿を見ると、とてもすてきだなと思います。みなさんにもいろいろな体験をしている人との出会い、生きがいとなるようなものを見つけてほしいと思います。

※ 仕事でも勉強でも、がんばったぶんだけ結果が出る。「やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ」とメリハリをつけて、実行しています。

※ 私が中学生のとき、わかる人がわからない人に教えていました。教える中で教える側も学び、わからなかった人がわかるようになるとみんなで喜び合いました。切磋琢磨、助け合いが大切だと思います。

※ 私は父からいろいろなことを学びました。山の山菜やきのこなどや海の魚や貝などのとり方、料理方法……。自給自足で結構いけるんだなと思います。

※ これから先、多くの人と出会うことでしょう。世の中に学ぶに値しない人はいません。いいところもわるいところも謙虚な気持ちで学ぶ意識を持ち、これからを過ごしてみてください。必ず自分にとってプラスになると思います。



※ ある会社の社長さんの名刺に、「感謝する人、感謝される人になる」と記されており、考えさせられました。その言葉は今でも私の心の中にあります。

※ いつも笑顔で誰にでも明るく受け答えすること、今もできるかぎり実行しています。

※ 自分ひとりで働くのではなく、他の人とともに働くことが大事なことだと思います。なぜなら、人は間違ったり思い込んだり忘れたり、失敗をする生き物だからです。複数の人と働けば、ミスにより気づきやすくなりますし、よいアイデアも生まれるものです。

※ 路線橋の橋脚に風景画を描いた子がいました。それを自慢げに話すのを聞いた近所のおじさんは「すぐ消してこい」と注意しました。泣きながら消したその子に、「自分の家の真新しい車庫のシャッターに、好きなように描いていい」と言いました。私の尊敬する職場の大先輩の家には、今でもその子が描いた風景画が残っています。

※ 親になって十数年、子どもを育てると同時に、子どもからいろいろと学び、親として人間として成長してきた十数年でもあります。家族や友を思いやる心、一生懸命何事にも取り組む姿、子どもの姿はどれも見習いたいことばかりです。

※ 社会人になりたての頃、いつも笑顔絶やさない同僚がいました。接客業なので、お客様の前の笑顔は当たり前なのですが、その同僚は、お客様のいないとき、掃除のとき、忙しくて疲れているときも、常に楽しそうに笑顔でした。どんなときでも笑顔でいることは簡単ではありません。その同僚のぶれないその姿勢に感心しました。「自分も笑顔でやってみよう」と思い、意識していくうちに、人の心を明るくしたり温かい雰囲気をつくれたり、笑顔って素晴らしいなと改めて実感することができました。無愛想や無表情は、人を幸せな気持ちにできません。しかし、笑顔は人をひきつけ元気にしてくれます。

